

畜産みやぎ

題字
宮城県知事 山本 壮一郎

発行所
仙台市錦町二丁目1番40号
法政宮城県畜産会
電話 (62-9181)

編集発行人 大石 武一
定価 1部20円

印刷所 KK東北プリント



農業公社牧場設置事業
(丸森町大内、家畜避難舎)

もくじ

肉畜鶏卵の生産出荷動向について.....	2
農業公社牧場設置事業の概況について.....	3
公共営放牧場における家畜の事故防止について.....	4
昭和51年度の畜産物生産動向について.....	5
家畜ふん尿の有効利用事例.....	6
家畜共済加入のすすめ.....	7
第19回乳質改善共励金の成績概要について.....	8
畜産団体紹介.....	9
牧乾草の需要申込み受け始まる.....	9
宮城県畜産技術発表会開く.....	10
「肉用牛経営コンクール」開催される.....	10

肉畜鶏卵の生産 出荷動向について

宮城県畜産課

1 肉牛

50年における県内の肉牛出荷動向は専用種が前年より伸びたものの、乳用種が6月から前年比60~70%の出荷に落込み、特に乳用雄牛については出荷適令牛が急減したため大巾な出荷減少となり、年間では前年を2割下回ったが全体では専用種の増加に支えられて前年並みの3万頭余の出荷頭数となっている。このため乳用種の肉牛出荷頭数に占める割合は49年の61%に対し50年は52%に低下している。

この出荷動向は全国的傾向で牛肉需要の停滞にかゝらず、大衆肉として需要の強い乳用種を中心に全般的に供給不足状態となったために、枝肉相場は昨年8月頃から高騰と、高値で安定的に推移している。本年の出荷動向は全体的に出荷適令牛の飼養頭数が減少しているところから当分は出荷停滞が続くものと見込まれている。品種別では専用種は横バイから前年より稍伸びるものと予測されるが、乳用種については乳用雄牛が49年の子牛価格の低落による初生牛と殺増加が本年半ば頃まで影響するため、秋頃までは依然として大巾な供給状態が続き前年並の出荷に回復するのは、それ以降となる見込みである。又乳産牛出荷も50年後半から前年比2割近く減少しているが、この傾向は本年一杯続くものとみられる。なお牛肉については、50年度中に7万tの輸入割当が行なわれており、この3~4月には大消費地中心に大量放出し、現在高水準にある枝肉市況を安定させるとしており、更に51年度においても国内供給不足が見込まれるところから相当量の輸入が予定されている。

2 肉豚

50年における県内の肉豚出荷は年初から前年比80%台と出荷減が続いたため年間出荷頭数は前年比83%の285千頭に減少した。全国的にも肉豚供給不足状態となったため枝肉価格は夏場から高騰に転じその後も高

価格で推移している。この肉豚出荷減少は前年における繁殖めす豚のと殺増と、夏場における分娩事故の多発等による子豚生産減の影響によるが、この傾向は次第に回復しているものの緩慢で本年6月頃からようやく前年並みになる程度で本年も大巾増加は望まれないとされている。本県における予測では8月頃までは前年比100を割る出荷となるが9月以降からは前年を上回るものと見込まれるものの、最近の子豚価格の高騰から子豚の県外移出が増加しているため、県内肉豚出回りは、あまり期待出来ず、年間ではほぼ前年と同じ28万頭程度の出荷となるものとみられる。なおこのような国内生産の絶対量不足から実勢相場が10ヶ月以上も安定上位価格を2割も上回る高値が続いているため、豚肉輸入はすでに125千tと前年の3倍にも達しており、更に減免輸入措置がとられるものとみられる。

3 プロイラー

本県の50年におけるプロイラー生産は前年対比72%と大巾に落込み540万羽が出荷されたが、昨年は全国的にも生産費の上昇による餌付け羽数の減少や、猛暑による生産減に加えて、牛、豚肉の代替需要増から全般的に供給不足となったために卸相場は史上高値を呈し、現在なお高水準で推移している。しかし本年の出荷予測では前年は前年比4~5%程度の増となり、後半は餌付け羽数の増加傾向から出荷が伸びるものとみられているので価格は弱含みになると見込まれる。本県においても価格の堅調に影響されて飼養羽数の増加が活発で4月以降、前年比20%以上の出荷増が見込まれており、年間では全国平均よりも大巾に伸び700万羽近くの出荷羽数となるものと予測される。

4 鶏卵

本県の50年における鶏卵生産量は3万tで対前年比103%と微増したが、成鶏羽数は生産調整の強化による増羽抑制で前年より稍減少し220万羽台で推移している。一方鶏卵卸売価格は49年秋から50年春まで高卵価で経過したが、その後需要の減退から供給過剰気味から低迷に転じ、後半稍回復しているものの300円前後を低迷しており、全国的に餌付け羽数が増えている傾向から、本年は更に低迷が続くことが予測され生産調整強化が必要となっている。全国段階の見通しは成鶏羽数

酪農経営に画期的な新鋭機登場



株式会社 五十嵐商会

仙台市中央三丁目5番14号

総合養豚事業にとりくむ
サイボクグループ



(株)サイボク
東北牧場

取締役社長 笹崎龍雄

取締役場長 大角宏一

宮城県栗原郡高清水町影の沢 TEL (022858) 2141

鶏卵生産量とも対前年比100としており、本県においても成鶏羽数は前年より2%程度減少し、鶏卵生産は前年並みと見込まれている。(肉畜課)

農業公社牧場設置 事業の概況について

宮城県畜産開発公社

昭和47年度から始まった本事業も、昭和49年度までに大衡、岩出山、本吉、蔵王、栗駒、涌谷の6地区が完了し、50年度事業としては、色麻村小栗山地区、丸森町筆甫の丸森地区の2地区を継続事業として実施しています。

新規地区を調査していますが、採択基準が本県の場合適用し難い点があり、難渋しています。

現在実施中の2地区の事業の概要について説明しますと

1 小栗山地区

色麻村村有地の17haを小栗山肉用牛生産組合(組合長佐藤多一)が借り受けて、10haを草地造成し7haは林地のまゝ雑陰林として利用する。

夏期放牧の和牛繁殖牧場のため、放牧場の飲用水は、沢水をポンプアップして利用する。

家畜避難舎は、夏期のみを使用ですが、船形山の山麓のため積雪が多く、鉄骨スレート葺きの頑丈な避難舎を1棟新設しました。

事業費は下記のとおりです。

工種	数量	事業費	自己負担額
草地造成	10ha	8,466円	2,963円
雑用水		3,835	1,342
用排水工		668	233
牧柵	3,310m	3,323	1,329
避難舎	100.0㎡	5,510	2,204
計		21,802	8,071

(農林漁業資金)

2 丸森地区

本地区は2法人2個人の4団地で地区を構成し自己所有地に新たに購入した山林を含めて、地区面積60haで草地造成面積は、49haと公社牧場8地区の中では1番大きい造成面積になります。

4団地とも丸森町の上水道の水源地域に位置しているため、畜産公害については、工事の施工時において、将来経営が軌道にのった時、問題とならないよう、受益者と協議して進めています。急傾斜地が多いので工事に万全を期しております。

49年から51年までの3年計画で実施していますが年々物価が高くなり、2億円を越える膨大な事業費となっています。その概要は下記のとおり

工種	数量	事業費	自己負担額
草地造成	49ha	45,631円	15,970円
雑用水	4ヶ所	9,463	3,312
肥培灌漑	7ha	2,000	700
排水	115m	420	147
隔障物	10,550m	6,751	2,700
電気導入	5,500m	10,634	4,254
看視舎	1棟60㎡	4,800	1,920
避難舎	4棟1,533㎡	94,130	37,652
サイロバンカー	15基	10,500	4,200
草地管理用機械	3セット	24,500	12,250
格納庫	120㎡	6,000	3,000
計		214,829	86,105

避難舎は省力化をはかるためバンクリーナーで糞尿を舎外に運び出し固液分離機で処理して草地還元を容易にする。

搾乳はパイプミルクローを利用し、バルククーラーとセットで乳質改善も併せて、労働時間の短縮をはかる。

冬期間の粗飼料の給与は、牧草サイレージ、稲わらを主体としたものとなるため、余剰草をサイロに積込む傾斜地用の草地管理用機械の導入を現在検討中です。

なお完了した6地区の事業については、県畜産課において「農業公社牧場の建設をかえりみて」と言う表題で実績が発表されていますが、受益農家は大規模酪農への足がかりができ、模範的な酪農家として地域の指導的役割を果たすことが期待できます。

飼料は みのり

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー用配合飼料
肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL 石巻 02252(5)4171~4

動物用薬品器材のことなら 古い伝統
頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL ☎ 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩洗1

02202(2)2278~9

山形営業所 山形市小石川四丁目9~24

0236(23)9909・9900

古川営業所 古川市中里三丁目3~32

02292(3)6266・6267

公共営放牧場における 家畜の事故防止について

宮城県畜産課

「公共営放牧場における事故防止対策指導要領」については、昭和50年5月第33号の本誌でご紹介いたしたところですが、従来、放牧場は経営を維持するために牛の健康管理を度外視した、極めて無理な放牧頭数の確保が慣行化されており、そのため牛の事故率も年々相当数にのぼり、県内の重要な牛資源の損耗ばかりでなく、放牧経営の赤字要因ともなっていました。〔別表(1)〕

「指導要領」に示めされたとおり、

- 1 放牧馴致の徹底
- 2 入牧月令(体重)、入牧時期の制限
- 3 入牧時の健康検査の徹底
- 4 定期検査の励行
- 5 異常牛の早期発見、隔離、治療
- 6 放牧管理人の技術向上と責任体制の明確化
- 7 放牧衛生検査施設の整備

等、預託農家及び管理者側の極めて基本的なことについて、関係機関による趣旨が徹底浸透し、50年は、別表(2)のとおり死傷事故率は1.05%と前年に比較し $\frac{1}{5}$ に減少いたしました。

これは、管理者はもとより、県内関係機関のご理解とご努力の賜であり、大変喜ばしいことでもあります。

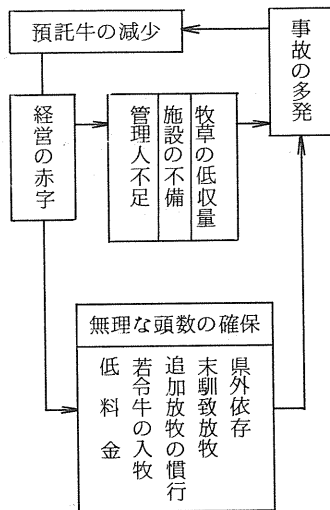
暖かくなり、そろそろ放牧の時期が近づいておりますが、昨秋頃からチラシを配布して、「放牧中の環境馴致」の徹底運動を展開していただいております。放牧する牛はいまのうちから、必ず屋外で飼育(パドック等)し、雨、風、雪などに馴らしておくようにお願いしているところでありますが、さらに、放牧牛を下痢、肺炎から護るために、入牧前に混合ワクチンを接種するよう準備を進めております。

51年度は畜産試験場等なみの0.5%程度の事故率を目標に、さらに特段のご協力をお願いいたしますと念願いたします。

<衛生係>

別表1

〔悪循環〕



(放牧風景)



純生卵

「生産から販売まで」

(株)フラワー食品仙台営業所

TEL (0222-92-6371)

色麻GPセンター

TEL (02296-3-4019)

(02296-3-4047)

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事

さく井工事 畜舎工事

ポンプ工事 設計・施工

水処理工事

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地

電話 (0222) 932461

別表2 集団放牧場における事故発生状況 (50.1.1.2.0現在)
(宮城県畜産課調)

区分年度	放牧頭数	死産頭数(%)	主たる疾病					疾病(%)	主たる疾病											
			肺炎	下痢	急性鼓脹	ピロ口	事故死		その他	牛肺虫	ピロ口	肺炎	蹄病	角膜結膜炎	伝染性	下痢	真菌症	乳房炎	未産	経産
48	4,300頭	194 (4.51)	149	23	17	—	3	2	1,545 (35.93)	※286	40	391	296	※17 (2)	—	182	※17 (2)	—	—	—
49	4,611	154 (3.33)	44	26	26	17	14	27	1,377 (29.86)	123 (2)	255 (2)	122 (2)	195 (8)	291 (8)	175 (2)	78 (9)	34 (6)	—	—	
50	4,085	43 (1.05)	6 (5)	12 (6)	6 (6)	5 (3)	7 (7)	7 (6)	619 (15.15)	12 (2)	100 (10)	46 (9)	115 (10)	17 (4)	62 (10)	103 (11)	11 (4)	※48 (3)	105 (29)	

(備考) 1. ※ ……………初発, ()内数字……………牧場数
 2. 死産事故のうち「その他」7頭内訳は
 (日射病2, 牛肺虫1, 尿石症1, 難産1, 栄失1, 食滞1)
 3. 疾病発生原因の「その他」105頭の主なもの
 (外傷23, 繁殖障害32, 鼓脹症9, 流産5, 日射病etc)

昭和51年度の畜産物 生産動向について

宮城県経済連

昭和50年の畜産物生産量は、前年の飼料価格の高騰、畜産物価格の低迷が影響して伸び悩んだため、価格は全般に強含みで推移しこの傾向は、51年の上半期も続くものと予測される。

以下は昭和50年における畜産物の生産量と年間平均価格である。

畜種	生産数量	前年対比(%)	年間平均価格(円)	前年対比(%)
肉豚	14,388千頭	93.7	746	133.5
肉牛	1,144 "	116.5	和(去)1,443 乳(去)1,234	125.2 145.2
鶏卵	1,780千t	98.7	314	109.4
ブロイラー	435,105千羽	97.6	304	107.8

肉豚は、生産回復が遅れ当面価格は堅調に推移か!!

肉豚の生産頭数は、子取り用雌豚の飼養動向から見て容易に回復しそうなものない。50年2月の91万1千頭から11月93万8千頭と9ヶ月間で3%の増加にとどまり、過去のテンポにくらべると非常に鈍くなっている。

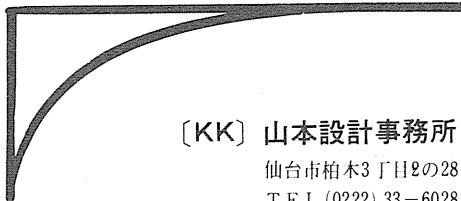
このような情勢から51年の肉豚生産状況は上半期、前年水準を下廻り、下半期以降前年並の出廻りが予想される。従って相場は高値で推移する条件下にあるが、価格の高水準による需要の減退、関税減免措置を背景とした豚肉輸入量の増加などが、今後の価格に大きく影響することが懸念される。

和牛肉牛の出荷は前年並で乳用牛の生産減は確実!!

和牛子牛の生産頭数は、49年8月から50年7月までの1年間に41万9千頭(前年対比99%)と、依然として横バイの傾向だったので和牛肉牛の出廻りは、前年並と思われる。

なお、乳用肉牛の出廻りは、49年中に乳子牛(スモール)として既に16万9千頭(前年対比510%)も

畜産施設設計コンサルタント



〔KK〕山本設計事務所
 仙台市柏木3丁目2の28
 TEL (0222) 33-6028

酪農協の牛乳!

全酪牛乳



全国酪農協同組合連合会(全酪連)
 小牛田工場 遠田郡小牛田町牛飼38
 TEL 02293-2-221

大量と殺されているので、出荷激減は必須である。

更に乳めす肉牛の出廻りを予想すると、乳牛の飼養動向からみても前年並かやゝ減少と推察される。

従って肉牛価格は、肉豚同様堅調な相場で推移する環境にあるが、高値水準による消費の減退、牛肉の輸入量増加が今後の価格を左右すると予想される。

採卵用ひな餌付羽数増加で鶏卵生産量はかなり増加//

50年の採卵用ひな餌付羽数は、1億87万6千羽(推定)前年対比105%で46年以来4年ぶりに前年餌付羽数を上廻っている。

この様なことから今年の鶏卵生産量は増加することが確実である。一方不況の長期化に伴う業務用、加工用の消費が停滞し、一般消費も減少(前年対比98%)傾向にあるので卵価の低迷は免かれず養鶏農家にとっては苦難の年と思われる。

餌付羽数は、やゝ増加豚肉牛肉の

代替需要に期待//

50年のプロイラー用ひな餌付羽数は、4億6千6百万羽(前年対比102%)の微増にとどまった。

今年の餌付羽数の動向は、相場の堅調持続から前年下期同様やゝ増加で推移すると思われる。

一方需要は、豚肉、牛肉の高値から代替需要がはたらく一般消費は前年対比109%と伸びている。従って今年当面の相場は、高値基調で推移するのではなからうか。

(畜産課)

家畜ふん尿の有効利用事例

宮城県畜産課

- 1 地区名 上沼地区(登米郡中田町)
- 2 利用組合名 上沼広域きゅう肥利用組合
- 3 地区の概要

本地区は県北部に位置する中田町内の上沼地区で平坦米作地帯である。総面積2,000ヘクタールで、うち水田が883ヘクタール、普通畑102ヘクタール、草地18ヘクタール、樹園地15ヘクタールとなっている。

家畜飼養頭数は、乳用牛133頭、肉用牛421頭豚4,016頭である。

4 組合の特徴

(1) 組織

大泉養豚組合、登米酪上沼支部、八幡山果樹、上沼野菜生産団地、中田町養蚕の5つの組合で構成。

(2) 事務所の所在地

登米郡中田町上沼 大泉養豚組合内
(TEL 02203 ④ 2238 番)

(3) 運営費について

利用料金及び町補助金をあてる。

(4) 利用法の主な特徴について

耕種農家はきゅう肥の必要量をそれぞれ事務所に注文し、事務所では、その運搬の量、期日、運搬方法を調整の上配達する。

液肥の処理については、豚舎より出る尿汚水を三槽式貯溜槽(200m³)に貯溜し、腐敗後バキュームカー(自走式4トン積)で汲み取り、牧草地(酪農家)又は、コンフリー畑(大泉養豚組合所有)に運搬散布する。

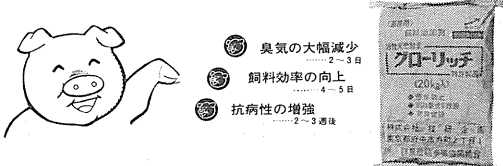
なお処理計画等については、当該利用組合の総会で決め、利用時点で各自事務所と連絡をとり利用する。

(5) 当該事業で設置した主な施設内容

- | | |
|---|----|
| 1) マニアローダー MF35 | 1台 |
| 2) ダンプカー マツダ2トンデゼル | 1台 |
| 3) バキュームカー マツダ4トン自走式 | 1台 |
| 4) 貯溜槽 コンクリート200m ³ 三槽式 | 1基 |
| 5) 堆肥盤 142m ² ×1 42m ² ×3 | 5基 |
| 6) トレンチャー カワバ、モールセニア | 3台 |
| 7) トラクター 25ps×1.22ps×2 | 3台 |
| 8) 農具舎 70m ² 鉄骨平屋 | 1棟 |
| 9) 尿散布機 重力式、散水装置一式 | 1台 |

5 利用料金

バキュームカー(汲取料)1台(4トン積)1,000円
ダンプカー(きゅう肥料金)1台(2トン積)1,500円
" " (具外)1台(")2,000円



代理店
宮城県登米郡町町佐沼字小金丁25番地
東和商事株式会社
電話 迫02202 ②3727番

ジンギスカン

緬羊会館

仙台 NHK向 (23)0704

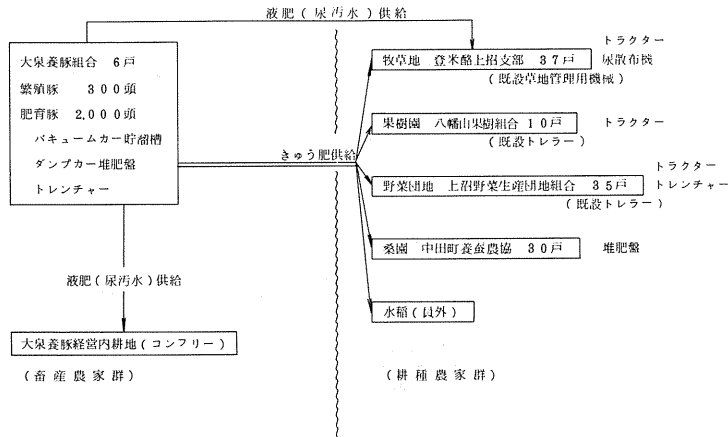
(運搬車を自家調達している場合1台分の積み込み料金として) 300円
 トレンチャー(貸出料金) 1日 3,500円
 (オペレーター付で、その掘溝に尿污水を入れる条件)

稲わらの調達については、水田 10アール分
 現場(水田)渡し 2,500円

6 事業名 畑作地域集団営農パイロット事業
 (広域きゅう肥利用促進事業)

- (1) 実施年度 昭和48~49年度
- (2) 事業費内訳

事業費	国補助金	県補助金	近代化資金	自己資本
17,162円	5,720円	2,861円	6,860円	1,721円



(畜産環境整備係)

家畜共済加入のすすめ

宮城県農業共済連

家畜共済制度は、農業災害補償法の幾度かの改正により現在の、畜産農家を単位とした全頭加入を建前とする包括共済制度に移行して以来、早や10年にならんとしております。

その間「補償の拡大充実」、「掛金国庫負担の増額」等の国に対する要請を強力に進めるかたわら、家畜共済有資格頭数の全頭加入を推進してきた結果、本県の共済加入頭数並びに引受総共済金額は、別表1及び2のとおり年々順調な伸びをおさめてはおりますものの、一部未加入農家もある現況にあります。

一方、死傷事故及び病傷事故は、最近の畜産事情の変化に伴い多頭飼育化、肥育事業等もすすみその結果事故頭数は年々増加する傾向にあり、昭和49年度の畜種別死亡廃用の事故頭数は、乳用牛980頭、肉用牛1,072頭となっており、これに支払われた共済金は、2億543万円、また病傷事故件数は全体で36,395件となりこの治療費として獣医師に支払われた共済金は、1億3,201万円、合計で実に3億3,744万円もの共済金が支払われております。このように事故頭数並びに支払共済金は年々異常に増嵩しており、これがため畜産経営におよぼす影響もまた大きなものがあるかと誠に憂慮される事態にあります。

幸いにして現在家畜共済制度の改正が進められ、農家負担共済掛金の国庫負担2分の1が実現される運びになりつつあります。このことはそれだけ農家負担掛金が軽

飼い上手 育て上手は……
 みのたに……で

動物薬品・獣医器具総代理店
K.K美濃谷

本店 山形市蔵王成沢
 TEL 山形 (0236) (88) 3121
 仙台営業所 仙台市山田字羽黒堂5-216
 TEL 仙台 (0222) (45) 4306
 鶴岡店 鶴岡市本町一丁目8-3
 TEL 鶴岡 (0235) (22) 1428

こくておいしい大型びん……

森永
ハイクラウン 牛乳

宮酪乳業株式会社
 仙台市一番町二丁目4-28 TEL(代)23-9101

減されることから、これを機会になお一層家畜共済制度の内容をご理解いただき、県下有畜農家の全頭加入を推進し、不慮の事故によって受けることのある損失をいくらかでも多くこの家畜共済制度により補償し、畜産経営の安定に寄与いたしたく努力いたしておりますので、更に関係各機関のご支援ご協力をお願いいたしたいと存じます。

(表1) 年次別家畜共済加入頭数

	乳用牛	肉用牛	馬	計
49年度	24,056頭	46,239頭	351頭	70,646頭
48年度	22,812	48,849	400	72,061
47年度	22,481	43,891	474	66,846

(表2) 年次別引受共済金額

	乳用牛 千円	肉用牛 千円	馬 千円	計 千円
49年度	2,503,682	6,153,650	51,830	8,709,162
48年度	2,151,032	5,898,793	54,060	8,103,885
47年度	1,688,848	3,608,851	55,100	5,352,799

第19回乳質改善共励会 成績概要について

宮城県畜産課

第19回宮城県乳質改善共励会表彰式が昭和51年2月4日勾当台会館に於て宮城県知事及び県議会議長、関係団体、会社等の指導者並びに優良酪農家など約150名の参加を得て次の次第により盛大裡に開催されたので、その概要、特に乳質改善の優秀な成績であった団体及び個人等について選考経過の内容を詳しく述べ今後の乳質向上の参考に供します。

1 第19回乳質改善共励会

第一部 表彰の部

1. 開会

2. 式辞 宮城県知事
3. 祝辞 宮城県議会議長
4. 優勝杯優勝旗返還
5. 表彰

- イ 選考経過報告 宮城県畜産課長 春日 博
- ロ 賞状及び記念品の贈呈

第二部 特別講演

「わが国における乳質改善の経過と今後の方向について」東北大学名誉教授農学博士中西武雄先生

2 選考経過の内容について

今回の乳質改善共励会は昨今における乳質改善の重要性に鑑み、従来の審査基準に無脂乳固形分の検査を加え、県内酪農家総参加のもとに、特に乳質の低下が見られる昭和50年5月から10月までの6ヶ月間にわたり実施した。本共励会の実施にあたり参加対象は宮城県生乳販売農業協同組合連合会に生乳を出荷している構成員10団体を対象とする第1部、各生産者団体の集乳グループ174集乳路線を対象とする第2部、並びに乳質改善に対して特に功績が顕著であると認められる個人を対象とする第3部について審査した。

審査基準として第1部は細菌数、抗生物質、無脂乳固形分の乳質検査及び食品衛生法による立入検査、第2部は細菌数、抗生物質の乳質検査及び食品衛生法による立入検査の各採点基準に基づき実施した。又第3部は各生産者団体から推薦された調書により書類審査した。

審査の概要は次のとおりです。第1部において細菌数の平均は生乳1cc当り330万と昨年の440万と比較して顕著な改善が認められた。しかし乳等省令の規格基準の400万を越えるものが2.4%あり、昨年に比較して改善されてはいるが、全体としてもう一步の努力が望まれる。

抗生物質は8月に3件の検出が認められたが、その他の月には検出されず、抗生物質使用に際しての指導者各位の適確な指導と酪農家における乳質改善への常日頃のご努力の賜と思います。

低成分対策の一環として本年度から新たに審査対象とした無脂乳固形分は8月に7.98%となった以外は8.0%以上であった。第2部において、上位5位までの細菌

牧場用柵には
強く美しくスマートな
東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼株式会社
 仙台市一番町二丁目7-5 TEL.277053
 販売元 塚本商事機械(株)東北出張所
 仙台市花京院二丁目1 TEL.214581
 代理店 本山振興株式会社
 仙台市昭和町6番10号 TEL.346221

フランス生れのソフトヨーグルト!
雪印ヨーグル



雪印乳業株式会社
 仙台支店
 東北事業部 仙台工場

数平均が100万以下と極めて優秀な成績であり、抗生物質、食品衛生法による検査等についても良好であった。

第3部の功績賞については各生産者団体から推薦された個人で地域の模範として乳質改善に尽力し功績のあった酪農家で名実ともに本県のリーダーシップをもちあわせた方々であった。

今回授賞した生産者団体、集乳路線グループ、酪農家は日常の生乳取扱い、乳質管理等乳質改善のポイントを適確に把握しており優秀な成績であった。これは各酪農家の自主的なご努力もさることながら指導者各位の熱心な指導の結果と思われまます。

特に今回の共励会期間中に感じたことは、細菌数については400万以上が2.4%あったがこの原因はミルクカーの洗浄、殺菌等の不備が指摘される。一部の方々が乳質の悪い生乳を出荷することにより全体が汚染されることを十分に認識し、合乳の連帯責任の重要性を自覚し、なお一層の努力を切望する。無脂乳固形分については夏期の4ヶ月間に8.0%を下回るものが顕著に認められた。この要因は高温、多湿粗飼料給与、乳牛団体の能力等多種多様であるが今後一層の関係者の研究努力を願うものである。

細菌数、無脂乳固形分ともにもう一步の努力をし名実ともに「宮城のフレッシュ牛乳」を生産し、本県酪農の充実と発展を期されるよう希望します。

第19回宮城県乳質改善共励会受賞者

第一部

- 最優秀賞 宮城県酪農農業協同組合
- 優秀賞 仙台酪農農業協同組合
- 〃 宮城県酪農農業協同組合連合会
- 優良賞 蔵王酪農農業協同組合
- 〃 本吉郡酪農農業協同組合
- 〃 宮城県経済農業協同組合連合会

第二部

- 最優秀賞 宮城県酪農農業協同組合 館山路線
- 優秀賞 蔵王酪農農業協同組合 丸森路線
- 〃 宮城県酪農農業協同組合 大沢路線
- 優良賞 〃 〃 大張路線
- 〃 〃 〃 小野路線

- 〃 宮城県近代化酪農農業協同組合連合会 色麻機械化酪農農業協同組合花川路線
- 〃 宮城県経済農業協同組合連合会 中新田町農業協同組合 中新田A路線
- 〃 宮城県酪農農業協同組合連合会 豊里路線
- 〃 栗原郡酪農農業協同組合 刈敷路線
- 〃 遠田郡酪農農業協同組合 笹岳田尻路線
- 〃 本吉郡酪農農業協同組合 大谷路線
- 〃 山田乳業株式会社 円田路線
- 〃 古川乳業株式会社 古川路線 (酪農係)

畜産団体紹介 (6)

団体名 宮城県農業共済組合連合会
 代表者 小野寺 誠 毅
 所在地 〒980 仙台市上杉一丁目8番10号
 電話番号 0222(23-6701)
 会員数 67(59組合, 8市町村)
 主なる事業 農業災害補償法により、農業者が不慮の事故によって受けることのある損失を補償する。

1. 農作物共済(水稻、麦)事業
2. 蚕繭共済事業
3. 家畜共済(牛、馬、種豚)事業
4. 果樹共済(りんご、なし、もも)事業
5. 任意共済(建物、農機具)事業
6. 園芸施設共済事業

!!牧乾草の需要申込み 受付け始まる!!

昭和51年度の県内生産牧草について、次の条件で予約受付けいたしております。

特級	1kg当り	65円~70円	現地渡し価格
一級	〃	60円~65円	〃
二級	〃	55円~60円	〃
三級	〃	50円~55円	〃

ARワクチン

(豚ボルデテラ感染症予防液)

北研の豚用製剤

新発売

販売・山形市城西町2丁目3-2

北里薬品産業株式会社

文献謹呈

東北出張所

TEL山形(0236)(24)0111



いつもフレッシュ!!

明治牛乳

明治乳業

ご希望の方は、出来るだけ組合等で取りまとめのうえ最寄の家畜保健衛生所を通じ宮城県草地協会にお早めに申込みをして下さい。

なお、等級規格は生産者、需要者間で決定するよう取り計らいしております。

宮城県畜産技術発表会開く

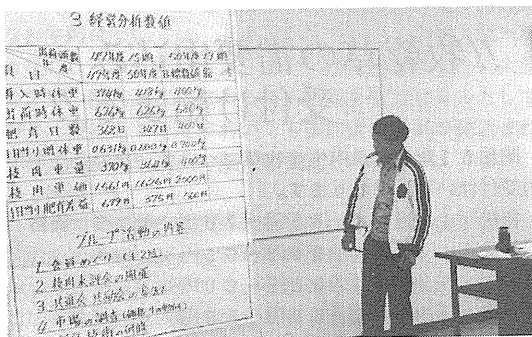
畜産会主催による宮城県畜産技術発表会が去る2月24日仙台市「みやぎの会館」において開催された。

本発表会は、畜産コンサルタント事業畜産技術改良中核農業者群育成事業の一環として畜産技術研究グループの育成指導を行なっておりますが、これが事業の成果をグループの代表者により発表、先進的畜産技術の普及、交流と相互研鑽を図るため開催いたしておりますが、本年度は酪農、肉用牛、養豚の各グループより5名の発表者があり関係者多数出席され盛會裡に終了いたしました。

なお本発表会の助言講師として県農業センター営農機械部長赤間東吉並らにに県畜産試験場家畜第1部長丹野祐一両先生をお招きし審査並びに助言を頂きました。本発表会は、来る5月13日～14日開催される全国大会の県予選も兼ねておりましたが、その結果肉用牛部門で発表された次の方が本県代表となりました。

本県代表者

栗原郡若柳町字川南大目 阿部一夫氏
(私の肉用牛経営と千円会活動について)



「肉用牛経営コンクール」 開催される

全国肉用牛協会主催、本会後援の北海道、東北ブロック肉用牛経営コンクールが2月18日仙台市の農業共済ビルにおいて開催されたが関係者多数参観され盛會裡に終了しました。

当コンクールは、肉用牛経営意欲の高揚と、先進的技術および経営方針を広く普及することを目的に、農業祭参加行事として全国5ブロックにおいて開催されるものです。

当ブロックは、肉用牛繁殖経営を主体として、各道県代表7名の方々が発表されたが慎重な審査の結果、北海道勇払郡厚真町、岩田文一氏が最優秀賞に決定し来る5月に開かれる全国大会に参加することとなりました。

なお、本県代表として登米郡迫町、上野新一氏が「私の肉用牛繁殖経営について」発表しました。

新刊図書案内

図書名	発行	定価
日本飼養標準(乳牛)	中央畜産会	600円
〃 (肉用牛)	〃	800〃
〃 (豚)	〃	630〃
〃 (家禽)	〃	450〃
日本標準飼料成分表	〃	850〃

51年度畜産コンサルタント事業診断申込みについて

51年度診断事業を、前年度に引き続き実施いたしますので希望者は農協、市町村、家畜保健衛生所経由で本会あて申込んで下さい。

三 鶏糞 無臭乾燥機 SD-100
菱 牛糞 無臭乾燥機 SD-400
SD-700

三菱機器販売(株) 仙台支社

仙台市原町苦竹字下二十町谷地102-2
LET (0222) 94-3281 代

無臭乾燥機の原理

SD 100K 型 } の場合
SD 700 型 }

